

一般質問

会派正式名称

【自由民主党】

鳥取県議会自由民主党

【民主とっとり】

鳥取県議会民主とっとり

【公明党】

公明党鳥取県議会議員団

答弁者説明

答弁者は、記載のものとは知事（各部長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。）

2月定例会では、23人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。※掲載に時間がかかる場合があります。

鳥取県議会

検索



興治 英夫
議員



選挙区 倉吉市
会派 民主とっとり

新しい学びと教員働き方、厚生病院老朽対策

問 ①自由進度学習（※1）など新しい授業の取入れ、子どもの非認知能力（※2）の向上、倉吉市の授業時数を減らし不登校対策や授業改善にあてる取組等の県内普及は②厚生病院の病棟老朽対策は。

答 ①（教育長）非認知能力向上が学力と相関するとの知見得た。倉吉西中が毎週子どもの状況を全教職員で共有し、不登校の激減、学力向上につなげた。それを市内の学校に広げるもの。自由進度学習試行も成果でている。県内に普及させる②厚生病院のあり方や病院間連携を協議する。



前田 伸一
議員



選挙区 鳥取市
会派 公明党

地方創生の加速化、外国人材活用、農福連携

問 ①若者や女性から選ばれる県民運動のスピードアップ②外国人材の活用と定着に向けた地元日本語学校による日本語教育の充実と生活面での支援強化③スマート農業を活用した農福連携事業の推進。

答 ①スピードを上げていく必要があり、令和の改選の県民会議を立ち上げた。男女協働未来創造本部を作り本気で取り組む②日本語学校が重要であり、どのように支えるか関係者と協議する③機械化や効率化による工夫により農福連携の分野にスマート農業の導入を進めたい。



前原 茂
議員



選挙区 米子市
会派 公明党

①災害時の対応強化 ②県内農業振興

問 ①県内避難所における国際基準であるスフィア基準（※3）について伺う②県西部の特産である白ネギとブロッコリーの出荷量が減少している。産地維持のための対策について伺う。

答 ①2月議会に24時間以内に避難所ヘトイレ、キッチン、ベッドをそろえていく「TKB24」を提案した。避難所環境の向上を目指していきたい②令和6年度に白ネギ、ブロッコリーの産地プログラムを作成した。とくに暑熱対策、コールドチェーン（※4）の在り方を関係者と検討する。



語堂 正範
議員



選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

①農業若者会議の設置 ②北条湯原道路の延伸

問 農業生産1千億円を達成するためには、農業を担う後継者の意見を聞き議論する場が必要と考えるがどうか。

答 1千億円を本気で達成するためには、そういう人たちと政策の立案や執行をしていかなければいけない。若者会議を設置する。

問 大雪になると湯原ICから通行止めになることが多い円滑に移動できる整備として北条湯原道路と米子道を繋ぐ道が必要ではないか。

答 蒜山ICに向けてのネットワーク化等、改良の促進を岡山県と進めていきたい。



島谷 龍司
議員



選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

障がい者への親亡き後の支援について

問 障がい者が親亡き後に安心して暮らすために当初予算に計上された地域生活サポート事業はどのようなものか。

答 グループホームの円滑な設置が進むよう県単独の支援措置を創設するとともに、地域での生活支援を行うセンター機能について、都市部では機能強化を、周辺部では連携を図りながら機能を維持する二つのモデル事業に取り組む。安心サポートファイルについては、親亡き後に残していきたい対象者の成長に応じた重点的な記載事項になるように改善を図っていく。

（※1）自由進度学習…児童生徒が自分で学習計画を立てるなどして、それぞれの進度で学んでいく学習方法。
（※2）非認知能力…知能検査や学力検査等で測定できない能力。意欲、忍耐力、協調性、自制心など。
（※3）スフィア基準…人道憲章と人道対応に関する最低基準の通称。紛争や災害の被害者が尊厳のある生活を送ることを目的とする。
（※4）コールドチェーン…生鮮食品や医薬品などを生産・輸送・消費の過程で途切れることなく低温に保つ物流方式。



鳥羽 喜一
議員

選挙区 倉吉市
会 派 自由民主党

「遙かな町へ」映画化 外郭団体の運用評価損

問 谷口ジローさん原作「遙かな町へ」の待望の映画化が決まったが、どのような期待を寄せられるか。

答 世界中の人に見てもらえるような映画となるよう協力は惜しまない。大きな大輪の花を咲かせられるようにする。

問 外郭団体の中に数千万以上の大きな運用評価損を出している団体がある。県でガイドラインを設定し、一括運用を検討するべきでは。

答 ご指摘の通りの部分が多い。ガイドラインの設置や一括運用について関係機関と話し合いを始める。



玉木 裕一
議員

選挙区 鳥取市
会 派 無所属

異次元の少子化対策 出産お祝い金一千万

問 人口減少問題に対する本気度を形にする。これまでのやり方を変えていく必要がある。一千万円の出産お祝い金は将来世代に向けた大きなメッセージで未来への投資。人口が増えれば需要や税収も増え経済も必ず成長。未来に夢と希望を描く事ができる。この政策を鳥取から国民運動に。楽しい日本を鳥取から創る。

答 次世代の事を考えるのは大賛成だが多分お金じゃないと思う。地方団体がやるべき事は社会サービスの提供。300億の捻出は県財政の1割。我々の能力を超えている。



山本 暁子
議員

選挙区 鳥取市
会 派 自由民主党

学びの多様化学校 森林づくりについて

問 不登校対策の「学びの多様化学校」導入の可能性は。

答 (教育長) 制度として県立は難しい。市町村と議論をしっかりと進めていく。

問 シカの食害が原因の植生被害とそれに伴う土砂災害の危険性は。

答 対策の成果が出ている地域もある。災害防止のためにもシカの食害対策に本腰を入れるタイミングが来ている。

問 広葉樹や特用林産物も含めた県内循環消費型の森のデザインが必要。

答 それが理想的。特用林産物支援の在り方も検討する。



東田 義博
議員

選挙区 鳥取市
会 派 自由民主党

①鳥取道の事故防止 ②津波対策

問 ①鳥取自動車道のトンネル内での正面衝突防止対策の施設整備と県警察の取り組みについて伺う②津波から県民や来訪者を守る対策と「ぼうさいこくたい」開催誘致について伺う。

答 ①対向車線に出ない構造物の早期対策と注意喚起の電光掲示板の設置を国に求める(警察本部長) 広報啓発や取締など事故抑止策を推進する②津波観測体制やソフト対策に取り組む「ぼうさいこくたい」の誘致は意義があり国に要請する。(教育長) 子どもの命を守る真の防災教育を行う。



浜田 妙子
議員

選挙区 米子市
会 派 民主とっとり

①再生可能エネルギー ②療育支援③年収の壁

問 ①第7次エネルギー基本計画では再エネ依存度4～5割。エネルギー政策の取組は②療育が必要な子の現場支援者研修の充実。家庭支援と居場所づくりを③身近な「年収の壁」無料相談窓口設置を。

答 ①福島原発事故以降、エネルギー生産・自給県を目指しメガソーラーやバイオ、風力も出来た。今後再エネと省エネを進め地球との共生でリーダーシップ発揮したい②現場や家庭支援プログラムを進めているが何が足りないのか聞き改善したい③国の方針が定まれば関係者と統一を図る。



安田 由毅
議員

選挙区 境港市
会 派 自由民主党

男女共同参画県民意識 調査について

問 令和6年度県民意識調査で男女の社会的な役割意識が平成元年に比べてほぼ反転した。男女施策は次のフェーズへと進んでいく時代に移り変わったのではないか。

答 男性は外で働き女性は家庭を守るという考え方に賛成が3割、反対が7割と逆転した。意識改革が進むことで鳥取県での住みやすさ働きやすさにつながってくる。そこにある大きな壁を打ち破っていくために、ぜひ県民運動に育てていきたい。社会も根本から変化することがあると信じて施策を投入する。



中島 規夫
議員



選挙区 鳥取市
会 派 自由民主党

①高校授業料無償化 ②米の適正価格

問 ①高校授業料無償化の議論が進む一方で公立高校の定員割れが深刻化するのではとの懸念もあるが、どのように対処されるのか②生産者が安心して生産し、消費者も納得して消費できる農業政策を目指すよう国に提言すべき。

答 ①（教育長）公立ならではの人材の磨き上げ、魅力化を高めていくことが必要であり、今後の高校のあり方をしっかり検討していく②米の増産の方向に移ってきており、国に対しても要望する。現場とよく協議し、規模に応じた生産振興策を図っていく。



銀杏 泰利
議員



選挙区 鳥取市
会 派 公明党

陸の孤島を防ぐ対策 年収の壁対策

問 ①航空路線を堅固にする滑走路延長と、災害時の陸の孤島を防ぐ路線や便数の確保を②JRグループだけではローカル路線の維持管理は難しい。行政に関わる必要あり③年収の壁対策は中間層まで減税効果が及ぶように公明党案で予算を修正。効果は。

答 ①2500m化は搭乗者数50万人以上等が条件。路線の誘致や利用促進に努める②国、地域も協力し運行をサポートすることが重要③2～4万円の定額減税になり、働き控えに効果があり、生活者支援にもなる。



尾崎 薫
議員



選挙区 鳥取市
会 派 民主とっとり

短時間正職員 海外の学校との交流

問 ①短時間正職員の手当て、退職金の基準はどうか②週休3日制度の対象の活動とは？③短時間会計年度職員にも住居手当支給は出来ないか④なじみの薄いアフリカ・南米等とのオンライン交流事業をやってはどうか。

答 ①若干調整はあるが同等の扱い。終身雇用も認められる②以前からの育児・介護に加え自治会・消防団・NPO・祭り等にも対象を拡大③法律上は不可だが世の中動いている。私たちなりに努力したい。④（教育長）体験が生徒を成長させる。ぜひ紹介をしたい。



浜田 一哉
議員



選挙区 境港市
会 派 自由民主党

水産業における諸課題 について

問 ①境漁港の冷凍・冷蔵施設的能力不足が課題である。建設に向け、第3セクターなどあらゆる可能性を検討していただきたい②県ではJブルークレジット（※6）を発行しているが、これは公的な排出量削減として扱われるべきでは。

答 ①スキーム作りが急がれる。県として積極的にプロジェクトに参画する②アラムの育成などのために仕組みを導入した。企業にとっても実質的なメリットがある。パブリックなクレジットとなるよう国に対して要望活動をする。



福浜 隆宏
議員



選挙区 鳥取市
会 派 無所属

令和の改新で花回廊 全庁挙げて磨き上げ

問 花回廊は開園26年経過し来園者半減。60代以上が過半数で10～20代はわずか8%。子どもや若者に刺さるテコ入れ必要。東アジア各国での昆虫ブームを機に、花や果樹と生き物の関係を学べるビオトープ化（※5）を。大手化粧品会社と提携しメインフラワーのユリを使った香水の開発を。指定管理者任せにせず全庁挙げて県立最大の観光施設を盛り上げる体制づくりを。

答 ビオトープ化、若者のトレンドを捉えた土産品開発等新年度早々に全庁的なPTを創設して体制強化を図る。



鹿島 功
議員



選挙区 西伯郡
会 派 自由民主党

倉吉農業高校へ和牛に 特化したコース設置を

問 和牛王国ととりの復活に向け、早期から和牛経営の知識を養い、全国一を目指す気概を持った後継者を育てるべきだ。県として高校に和牛コースの設置を取り組み、和牛甲子園出場に向かっては。

答 和牛飼育コースはないが、県が働きかけ繁殖和牛の優良賞を獲得されている。畜産試験場や農業大学校を含め、より専門技術者による和牛後継者育成の支援をしていく（教育長）農業後継者育成に和牛は非常に重要と考える。令和7年度予算で施設整備したい。